

柏市町会等活動講座 (令和 6 年度)

利根町会 防災会

1. 自己紹介

私は、利根町会防災会 会長の常世田 誠一です。

1949年 昭和生まれの75歳

**防災会活動の他に、いきいきネットふれあいサロンを
担当して、元気に日々を過ごしております。**

2. 利根町会の概況

- 所在地：柏市布施
 - 世帯数：95世帯
 - 県立柏高校に隣接
-
- 1969年 柏市都市開発公社により、柏高校用地を含め用地を買収して開発された。
 - 1974年より入居が開始されてから50年と、歴史のある周辺町会と比べ歴史の浅い町会である。



3. 自主防災会発足の経緯

- ・ 1983年に柏市自主防災組織補助金交付要綱が制定され、市は各地域に自主的に組織を結成するよう指導してきた。
- ・ 1995年1月に阪神・淡路大震災が発生し、改めて柏市から町会へ「地震などの災害のとき、その被害を最小限に抑えるため、町会単位でつくる「自主防災組織」を推進している」旨の通達あり、当町会も組織結成を検討。
- ・ 当時の町会長が有志者を募って、1995年12月に当初は7名で「利根防災会」を発足。
発足から29年が経過し、現在15名で活動している。

4. 構成員と組織構成

- ・ 構成員（15名）の防災会経験年数
20年以上：10名、10年以上：3名、10年未満：2名
- ・ 組織構成：会長、副会長、会計、顧問、
企画渉外、装備品管理、訓練、総務広報

私が4代目の会長になります。

現在の防災会の組織体制・活動内容をメンバー全員で話し合い、長年に渡って活動出来ているのは「町会をより良くしたい」との思いを持ったメンバーが集まり、その思いを具現化して来たリーダーとメンバー全員の知恵と努力と思っている。

5. 活動内容

主な活動内容は以下の7項目であり、この後それぞれの具体的な内容を説明する。

- (1) 定例訓練（防災会議）
- (2) 防犯パトロール
- (3) 防災訓練（県立柏高等学校との連携）
- (4) 防災知識の普及
- (5) 災害時要配慮者の把握と支援体制の整備
- (6) 災害時復旧作業
- (7) 町会行事支援

6. 具体的な活動

(1) 2023年度の活動

昨年度の活動実績は以下の通りで、定例訓練を月1回行っている。
なお、防災会議では、今後の活動予定の確認と段取りや、防災計画の見直し、過去の災害事例を学習し防災知識の向上に努めている。

月	活動内容	月	活動内容
4月	防災会議	10月	柏高校との合同防災訓練
5月	防災会議	11月	倉庫前水道周り整備／富勢地区自主防災訓練
6月	防災会議	12月	防災倉庫設置場所土止め作業／備品整理
7月	町会向け防災学習「自然災害への防災対策」	1月	町会餅つき支援／防災倉庫移設作業
8月	防災会議	2月	令和6年度活動計画、予算策定会議
9月	柏高校との合同防災訓練準備	3月	令和5年度防災会総会／防災倉庫棚設置他

6. 具体的な活動

(2) 防犯パトロール

**防犯パトロールは、2012年に町会役員と連携してスタート。
拍子木を鳴らし、「火の用心」のアナウンスを流しながら、30分程度
町内を巡回している。**

- ・月2回 第2、第4土曜日、12月は強化月間として毎週実施。
18時スタート（30分程度）**
- ・2023年度実施実績
年間：20回実施、延べ参加者：225名**

6. 具体的な活動

(3) 防災訓練（県立柏高校との連携）

- ・防災訓練の一環として、放水訓練を高校のグラウンドを借りて実施。炊き出し訓練で作ったカレーライス等を、部活の生徒に食べてもらいコミュニケーションを取っていた。
- ・2012年に、日中の災害発生では、高校生の協力が大きな力となるとの思いから、高校に対して生徒を交えた防災訓練を提案し、連携した訓練を実施することになり現在に至っている。具体的な訓練内容を、昨年度の画像を交えて説明する。

6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

（3）防災訓練（県立柏高校との連携）

- ・訓練には、町会66名、高校からは校長先生はじめ先生6名、生徒25名
合計97名が参加。校長、町会長、防災会長の挨拶から訓練を開始。

2023年10月1日（日）

利根町会・県立柏高校合同防災訓練

1. 訓練参加人員

班	町会計	柏高校			合計
戸数	99	生徒	先生	計	
参加人員 (人)	66	25	6	31	97

2. 安否確認訓練結果（無事確認札）

班	町会計
戸数	99
確認戸数	80
率	80.8%

6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

【防災訓練の内容】

・情報収集伝達訓練

町内の被災箇所がないか巡回確認しながら、拡声器で訓練実施を伝達。

・安否確認訓練

各戸へ、現在町会で備蓄している水のペットボトル（2ℓ）1本をローリングストックの目的で配付しながら、この後に説明する「無事確認札」を確認。

6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

【無事確認札】

- ・黄色の「無事確認札」とは、災害時に家族の無事が確認出来たら速やかに掲げることとしている。
- ・「無事確認札」が掲げられていない場合は、町会役員や防災指導員が安否を確認。
- ・前年の実績では、99戸に対して80戸が掲げた。



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

・毛布の簡易担架作り訓練

高校生にパイプと毛布を使った簡易担架作りを指導し、実際に高校生が簡易担架を作り、避難訓練に使用した。



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

・避難訓練

公園から高校中庭までの約300メートルの距離を、車いすや簡易担架で町会員と高校生が一緒になって避難訓練を実施。



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

・柏消防署による訓練

水消火器を使って、初期消火を町会員と高校生が一体となって実施。



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

・柏消防署による訓練

通報訓練では、進んで町会員と高校生が指導を受けた。

AED操作・救急訓練でも、町会員、高校生が積極的に参加。



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

・炊き出し訓練（災害備蓄品の試食）

町会員と高校生と一緒に、アルファ米（混ぜご飯）、豚汁・けんちん汁、さばの缶詰めを試食し概ね好評であった。



6. 具体的な活動：防災訓練（県立柏高校との連携）

【防災訓練以外の高校との連携】

・当町会の納涼会への参加

8月24日に実施した当町会の納涼会で、高校のブラスバンド・軽音楽部（総勢50名）による演奏会が行われ、納涼会を大いに盛り上げた。

・高校行事への参加・協力

毎年行われている文化祭へ、町会で有志を募って見学会を実施。また、当町会員に対して高校からのアンケート（生徒の印象や通学時の自転車マナー 等）への協力。

6. 具体的な活動

(4) 防災知識の普及

・柏市出前講座実施

2023年4月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、町会員に対し柏市防災安全課の出前講座を実施。

2023年7月：自然災害への防災対策（参加者：33名）

2024年6月：犯罪の被害にあわないために（参加者：38名）

・「利根町会 防災の手引き」を作成

2023年4月に柏市「防災ガイドブック」からポイントを抜粋し、当町会に合わせた「利根町会 防災の手引き」を作成。

利根町会 防災の手引き

【目次】

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 避難所・避難場所 | 10. 防犯パトロール |
| 2. 備蓄品および非常時持ち出し品 | 11. 困った時の連絡先 |
| 3. 災害対策本部の設置 | 12. 災害時連絡方法（伝言ダイヤル） |
| 4. 水害対策の状況 | 13. 災害時連絡方法（伝言板） |
| 5. 地震対策（発生時のポイント） | |
| 6. 地震対策（発生から3日間の対応） | |
| 7. 火災対策（初期消火） | |
| 8. 火災対策（消火器） | |
| 9. 地域で行う防災活動 | |

【作成】 利根防災会

作成日：2023年4月1日

6. 活動内容

(5) 災害時要配慮者の把握と支援体制の整備

(6) 災害時復旧作業

- ・大雨時の側溝汚泥除去、大雪時の道路除雪を実施

(7) 町会行事支援

- ・町内清掃時の立木伐採
- ・納涼会の設営、飲食提供支援
- ・餅つき大会の設営、実施支援
- ・三世代運動会への参加 等

7. 今後の課題

◆ 災害時の「自助」に対する意識の浸透

災害発生後の3日間は公的支援は無いと思っでの対処が必要ではある。

然しながら、町会としての備えには限界があり、各家庭での災害備蓄品の準備が必要である。

◆ 次代を担う防災会員の勧誘

町会への転居者が少ないことから、防災会員が固定化しており高年齢化している。次代を担う若手の会員獲得が課題である。